

『向島の豊かな自然と生きものたち』

第29回 糞虫(ふんちゅう・くそむし)

フンチュウ・クソムシ…どちらの呼び名でも良いらしいこの糞虫が、数ある虫の中でも特に好きである。名前のおとまり、野生生物や家畜のフンやクソを食べる虫である。

「ファーブル昆虫記」ですいぶん前から知ってはいたが、実物を見ることもなくいつの間にか大人になってしまい、気がつけば人生の半分以上を生きてきた。残りわずかになって虫集めに夢中になったのだが、その原因がこの糞虫である。

県北に溪流釣りに出かけていて、昼飯のオニギリを食べるのにちょっと移動すると牧場があるのに気づき、柵の近くで牛をながめながら美味しいオニギリをほおばっていた。

そのうち風向きが変わって、なんともいえぬ糞のにおい…けど、また風向きが変われば実にのどかで、放牧牛ののんびりした動きは見えて飽きないのでありました。

ふと、柵のそばにこんもりと盛られた牛糞が目がいき、なにかブンブンとそのかたまりの周りを飛びかう小さい虫がやたら多いことに気がついたので、オニギリを食べた両手で自分の尻をパンパンとたたきながら近づいて、驚いた！

どうせハエやアブのたぐいだろうと思っていたのだが、その中に黄色のハエがいるではないか?!しかも、糞にはハエでもアブでもない、見たことも聞いた事もない虫がいるわいるわ…

よく見ると、牛糞は小さいバケツをひっくり返したほどのかたまりで、それに小さな穴が開いていて、飛びまわる虫が糞に降りるとすぐさま糞の中にもぐりこんでいるじゃーありませんか!!

その日のうちに手持ちの図鑑でそれが「フンコロガシ」の仲間であることを知り、黄色いハエが「オオフタホシマグソコガネ」だと分かった頃には数種のフンチュウをゲットしていました!

糞虫は、野生生物の糞や死がい処理することで、森や草原のそうじ屋さんと呼ばれ、とても大切な役割をはたしています。

日本国内で見つけた糞虫と、外国のゾウなどの糞に集まる糞虫を見てください。

これを見たまみなさんの感想なども聞いてみたいと思うのですが…

今回は、私が虫集めを始めたきっかけになった虫です。